

0市債 第二庁舎空調設備改修工事

設計図

特記仕様書

1. 工 事 概 要

1. 工 事 場 所

長野市大字鶴賀緑町

2. 建 物 概 要

建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別 表 第 一	耐火構造	備 考
第二庁舎					耐火	改修

3. 工 事 種 目

●印を付けたものを適用する

建物別及び屋外 工 事 種 目	工 事 種 別					
第二庁舎						屋 外
● 空 気 調 和 設 備	一 式					
○ 換 気 設 備						
○ 自 動 制 御 設 備						
○ 衛 生 器 具 設 備						
○ 給 水 設 備						
○ 排 水 設 備						
○ 給 湯 設 備						
○ 消 火 設 備						
○ 厨 房 設 備						
○ ガ ス 設 備						
○ 排 水 処 理 設 備						
● 撤 去 工 事	一 式					
○ 昇 降 機 設 備						
○ 電 気 設 備 工 事						
○ 建 築 工 事						
○						
○						

4. 指 定 部 分

○ 無 有 (○ 部分しゅん工 ○ 部分使用 )

\* 回目 (令和 年 月 ) :

\* 回目 (令和 年 月 ) :

5. 工 事 内 容

工事概要

本工事は第二庁舎の空調設備を改修するものである。

本工事における材料等の調達及び書類作成などを含めたすべての実質工事期間は、10ヶ月とする。

なお、契約約款10条第3項に規定する「現場代理人の常駐を要しないことができる」期間は、施設等に影響が出ないように打合せにより決定する。

工事にあたっては、関係者と十分に打ち合わせを行い、施設運営に支障のないよう施工計画を立て、施工時に配慮すると共に安全管理に万全を期すること。

I 機械設備工事

1. 空気調和設備

図示のとおり、機械室南系統の空気調和機 (AHU) の改修を行うもの。

2. 冷温水管配管工事

図示のとおり南系統機械室内横引き冷温水管 (保温含む) を更新するもの。

3. インバータ等更新工事

図示のとおり、機械室内空調用送風機のインバータ等を更新するもの。

4. 冷温水管超音波劣化診断

南系統機械室及び北系統機械室の立配管20本の超音波検査を行うもの。

また、各配管4か所超音波検査を行うこと。

なお、各階ごとに冷温水管のカメラ調査を行うこと。

5. 撤去工事

図示のとおり、既存配管類及び既存機器類などを撤去するもの。

工事に伴う発生材については、請負者の責任において関係法令に基づき適正処分すること。

II. 工 事 仕 様

1. 共 通 仕 様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて長野市建設工事共通仕様書による。

(2) (1) 及び国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書」、「公共建築改修工事標準仕様書」の建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編、及び「公共建築設備工事標準図」の電気設備工事編・機械設備工事編 (いずれも最新版) で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等 (条例を含む) と異なる場合には、具体的な対応策について監督職員と協議すること。

2. 特 記 仕 様

(1) 規則

本工事規則は特記あるものを除き、長野市契約規則及び工事請負契約書の記載事項による。

(2) 責任保障

工事しゅん工引渡し後特記あるものを除き、工事の施工に起因した事故が生じた時は、木造建物及び工作物1年間 (受注者の故意または重大な過失による場合、5年間)、木造以外の建物及び工作物2年間 (同、10年間) 以内に、期日を定め補修工事をし、工事監督職員の検査を受けること。

(3) 一般注意事項

1) 本工事における必要な諸手続等は原則として受注者において行うこと。

2) 設計図面内の不一致及び明記なき箇所がある場合は、監督職員と協議の上その指示により施工のこと。

3) 諸材料については必要に応じ見本品または現品を提出し、監督職員の承諾を受け施工のこと。ただし、J I S規格合格品等で工事係員がそれを確認できた場合はこの限りではない。

4) 工事施工に際し必要な箇所は、各工事に先だし施工図を作成し、監督職員の承諾を受け施工のこと。

5) 工事施工上必要ある箇所は、工事監督職員の指示により適当なる材料をもって養生を施し急硬急乾燥結破損の防止をすること。

6) 工事受注者は、工事着手前に実施工程表及び各職種の協力業者名簿を提出し監督職員の承諾を得ること。

7) 工事完了後検査不可能箇所の施工にあたっては、必要に応じ監督職員の立会いのもとに施工のこと。

8) 諸職工その他に対して監督職員の指示に従わない者、または技術未熟練者は退場を命ずることがある。

9) 工事完了後は速やかに工事現場内外の清掃、後片付け及び損傷箇所の復旧補修をし、監督職員の下検査合格後竣工検査を受けること。

10) 工程写真、竣工写真を撮影し、アルバム各1部を提出すること。

写真撮影要領は国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「工事写真の撮り方」の建築設備編 (最新版) による。

11) 本工事受注者は必要に応じ工事事目的建物を火災保険に付すること。

(4) 経費

上記各事項に要する諸経費はすべて受注者において負担する。ただし、現寸及び製品検査の市係員の出張旅費は市負担とする。

(5) 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について

1) 長野市が発注する建設工事 (以下「発注工事」という。 ) において、暴力団員等による不当要求又は工事妨害 (以下不当介入という。 ) を受けた場合は、断固としてこれを拒否すること。また、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、検査上必要な協力を行うこと。

2) 1) により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。

3) 発注工事において、暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

(6) 工事実績情報の作成、登録

1) 工事請負額が5 0 0 万円以上の工事については、工事実績情報 (工事カルテ) の登録をすること。

2) 登録する場合は、あらかじめ監督職員の確認を受け、次に示す期間内に (一財) 日本建設情報総合センター (J A C I C) に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する。なお、変更時と完成時の間が1 0 日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

①工事受注時 契約締結後1 0 日以内

②登録内容の変更時 変更契約締結後1 0 日以内

③工事完成時 工事完成後1 0 日以内

(7) 環境に関する配慮について (ISO)

工事にあたっては、長野市環境方針 (最新版) を十分に配慮し、設計書及び標準仕様書はもとより、環境に配慮した材料の仕様、廃棄物の発生抑制、アイドリングストップや省エネ重機の使用による省エネルギーの推進、低公害工事機材の使用、工事従業者への教育など、施工にあたって細心の注意を払うことにより、工事の環境への影響を極力少なくするよう配慮すること。

なお、具体的な計画を施工計画書に記載して実践するものとする。

(8) 章、項目、特記事項共に●印の付いたものを適用し、○印のものは適用しない。

(9) 長野市公契約等基本条例について

● 長野市公契約等基本条例の内容について、労働者等へ周知するとともに、事務所 (作業所) 等へポスターを掲示すること。

● 業務の一部を下請負者等に履行させるときは、長野市公契約等基本条例の内容について説明し、各々の対等な立場における合意に基づいて適正に契約を締結すること。

● 長野市公契約等労働環境報告書1 部及び施工体系図 (共通仕様書に定められたもの) の写し1 部を契約後速やかに監督職員へ提出すること。この場合、業務の一部を下請負者等に履行させるときは、下請負者等の労働環境報告書を取りまとめて提出すること。

(10) 週休2 日工事について

実施にあたっては、長野市週休2 日工事実施要領により行うこと。

1) 月単位の週休2 日工事の場合

当初予定価格において、4 週8 休以上の達成を前提とした経費補正を行っている。そのため、現場の閉所実績を確認し、月単位での4 週8 休未満の場合は、実施要領に定めるところにより減額変更を行う。

2) 通期の週休2 日工事の場合

当初予定価格において、4 週8 休以上の達成を前提とした経費補正を行っている。そのため、4 週8 休未満の場合は、実施要領に定めるところにより減額変更を行う。

章

項 目

特 記 事 項

● ● 電気保安技術者

工事現場における電気保安技術者は、工事担当技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。

○ 技能士の適用

○ 配管施工 (配管工事) ○ 建築板金施工 (ダクト製作および取付け)

○ 熱絶縁施工 (保温工事) ○ 冷凍空気調和機器施工 (冷凍空調機器の据付)

○ 監督員事務所

○ 設けない ○ 設ける

○ 工事用電力・水・その他

この工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用は、すべて受注者の負担とする。

○ 足場・さん橋類

○ 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。

○ 本工事で設置とする。

○ 建設発生土の処理

○ 現場説明書による ○ 構外搬出適切処理

○ 構内指示の場所にたい積 ○ 構内指示の場所に敷き均し

参考搬出先 ( 住所 : 長野市 )

想定残土運搬距離 ( km) 想定土質区分 (第 種発生土)

なお、参考処分場以外に搬出する場合 (自社処分地、無償処分地、参考処分地での受入れが不可により他の有料処分地) や土質区分が想定と異なる場合は変更協議の対象とする。

○ 埋め戻し土・盛土

○ 根切り土の中の良質土 (ただし管の周囲は山砂、川砂又は再生砂)

○ 山砂の類

○ 資材の保管

○ 資材の保管は、必ず屋根をかけ地上3 0 c m以上の架台に乗せる。

● 火災保険等

○ 工事目的物及び工事材料に適用する。 (工期+1 4 日間)

○ 他工事又は他工種との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討のできる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

● 施工調査

(1) はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行うこと。

(2) 既設壁等の貫通は、鉄筋探査を行い、躯体を痛めないよう配慮すること。

● あと施工アンカー

あと施工アンカーを施工する作業者は、一般社団法人日本建築あと施工アンカー協会の資格を有する者又は十分な技能及び経験を有した者で、監督職員が認めた者とする。施工後の確認試験は監督職員の指示による。

○ 防火上主要な間仕切り壁等の貫通処置

防火上主要な間仕切り壁等を貫通する場合は、国土交通省認定工法にて防火区画貫通処理を行うこと。

○ 化学物質を放散させる機材等

本工事の建物内部に使用する機材等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の (1) から (5) を満たすものとする。

(1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(2) 保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(3) 接着剤はフタル酸ジ- n - プルチル及びフタル酸ジ- 2 - エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(5) 上記 (1) 、 (3) 及び (4) の機材を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

なお、ホルムアルデヒドを放散させないものとは放散量が規制対象外のを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用する。ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。

また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。

ホルムアルデヒド 該当する機材等

規制対象外

①JIS及びJASの F☆☆☆☆品

②建築基準法施行令第2 0 条の7 第4 項による国土交通大臣認定品

③下記表示のあるJAS適合品

a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用

b. 接着剤等不使用

c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用

d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用

e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用

第 三 種

①JIS及びJASの F☆☆☆☆品

②建築基準法施行令第2 0 条の7 第3 項による国土交通大臣認定品

③旧JISの E o品

④旧JASの F co品

施工図及びしゅん工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

● 施工図及びしゅん工図等の取扱い

● アスベスト含有建材の事前調査

○ アスベスト含有建材の改修

● 週休2 日工事の対象

● 耐震措置

● 提出書類

● 総合調整

○ 容量等の表示

○ 配管

○ 絶縁継手

○ 地中埋設機等

○ フレキシブルジョイント

アスベスト含有建材の撤去に当たり、石綿障害予防規則第3 条の規定に基づきあらかじめ事前調査を建築物石綿含有建材調査者が行うこと。調査は、「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」及び「建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にはばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針に基づく石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル」を参考に行うこと (書面調査及び現地調査)。また、石綿に関する事前調査結果を石綿事前調査結果報告システムにより報告すること。

特定化学物質等作業主任者技能講習 (旧制度) 又は石綿作業主任者技能講習を修了した者のうちから、石綿作業主任者を選定し、施工要領書を作成の上適正に作業にあたること。

発注者指定型の週休2 日工事の対象工事である。

● 月単位の週休2 日 ○ 通期の週休2 日

設備機器の固定等は、すべて「国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計・施工指針2 0 1 4 年版」により行う。ただし、設計用水平震度KH及び設計用鉛直震度KV (KH/2) を用いて計算する。

設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類 (※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
中間階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1 階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

【備 考】 (※1) : 水槽類には、オイルタンク等を含む。

特定の施設とは避難所に指定されている施設

重要機器は次のものを示す。

・給水装置 ・排水装置 ・換気機器 ・空調機器 ・熱源機器

・防災設備 ・監視制御設備 ・危険物貯蔵装置

・火を使用する設備 ・避難経路上に設置する機器

上層階の定義は次にによる。

2 ～ 6 階建の場合は最上階、7 ～ 9 階建の場合は上層2 階、1 0 ～ 1 2 階建ての場合は上層3 階、1 3 階以上の場合は上層4 層とする。

(1) 着工前 施工計画書 2 部

(2) 施工中 施工図、機器納入仕様書 (見本品を含む) 2 部

(3) しゅん工時

しゅん工届 1 部

しゅん工写真 1 部

工事写真 1 部

工事記録簿 打合せ記録、工事日誌 1 部

施工計画書 承諾を受けたもの 1 部

社内検査報告書 中間検査含む 1 部

各種届出書 1 部

機器納入仕様書 承諾を受けたもの 1 部

施工図 承諾を受けたもの CADデータ共 1 部

しゅん工図 CADデータ共 1 部

○ しゅん工図製本 ○ 見開きA 1 1 部 ○ 見開きA 3 3 部

○ 保全マニュアル 機器設定データ類とも (交換機等) 2 部

取扱説明書 別ファイルとする 2 部

工具・予備品 監督職員の指示による

※CADデータについては、JWCAD形式 (JWW) 又はCAD交換標準 (SXF) Ver.2.0以降形式 (P21又はSFC) で保存したデータを、電子媒体又は監督職員の指示による方法で提出する。

※製本については、白焼きとし、背景紙に年度と工事名、表紙に年度、工事名、設計者名、工事管理者名、施工者名、工期しゅん工日を印刷する。

※他工事が別途発注されている場合は、監督職員の指示により総合版とする。

○ 本工事 (調整項目は下記のものとする。)

○ 風量調整 ○ 水量調整 ○ 空調室内機吹出し及び外気の温度測定 ○ 騒音測定

○ 別途とする。

○ 飲料水の水質測定 (○ 水質検査1 1 項目 (一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物等 (TOC) 、 pH、味、臭気、色度、濁度) ○トルエン)

※飲料水の水質測定は厚生労働大臣登録水質検査機関とする。

○ 給水配管末端での残留塩素測定

(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。

(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

溶接部の非破壊検査 ○ 要 ( )

取り付け箇所は図示による。

(1) 地中埋設機 ○ 要 (図示の箇所) ○ 不要

(2) 埋設表示用テープ ○ 要 (排水管を除く) ○ 不要

○ 圧送管に使用するフレキシブルジョイントは、可とう性に加え、防振性を合わせ持つものを選定すること。

0市債 第二庁舎空調設備改修

工事設計図

特記仕様書 (1)

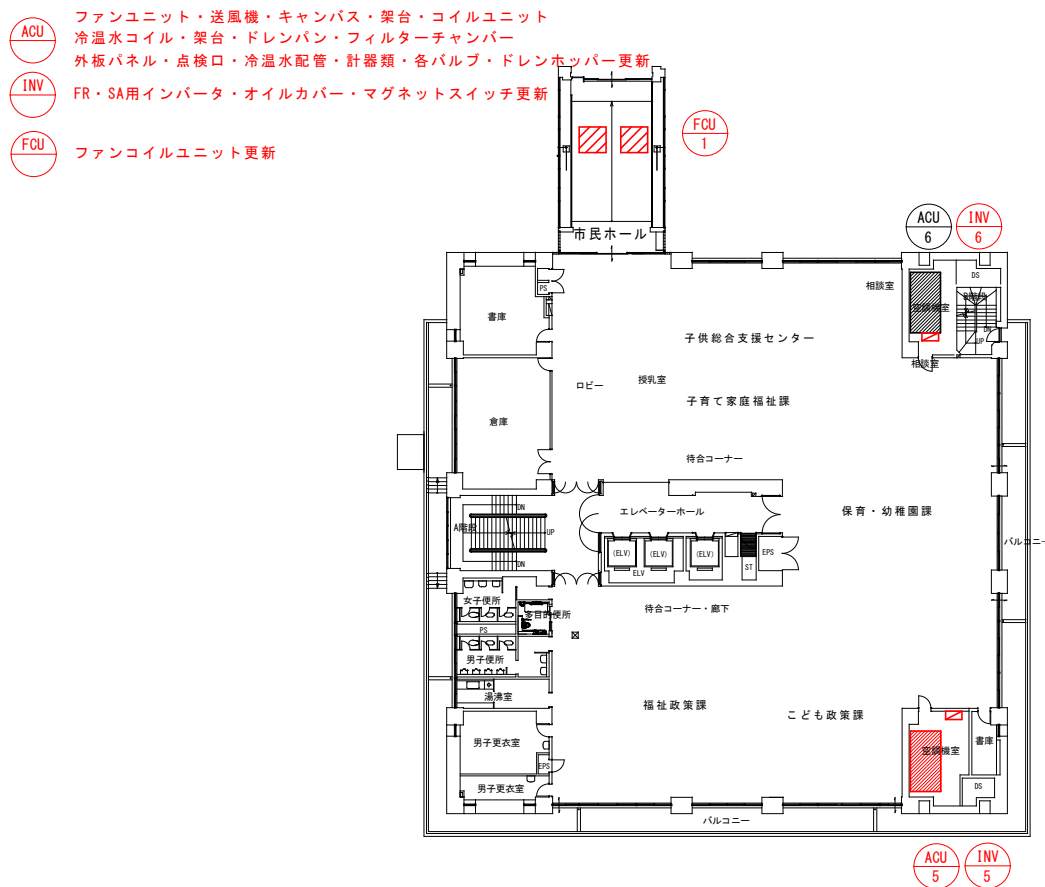
令和7 年度

● 長野市総務部総務課

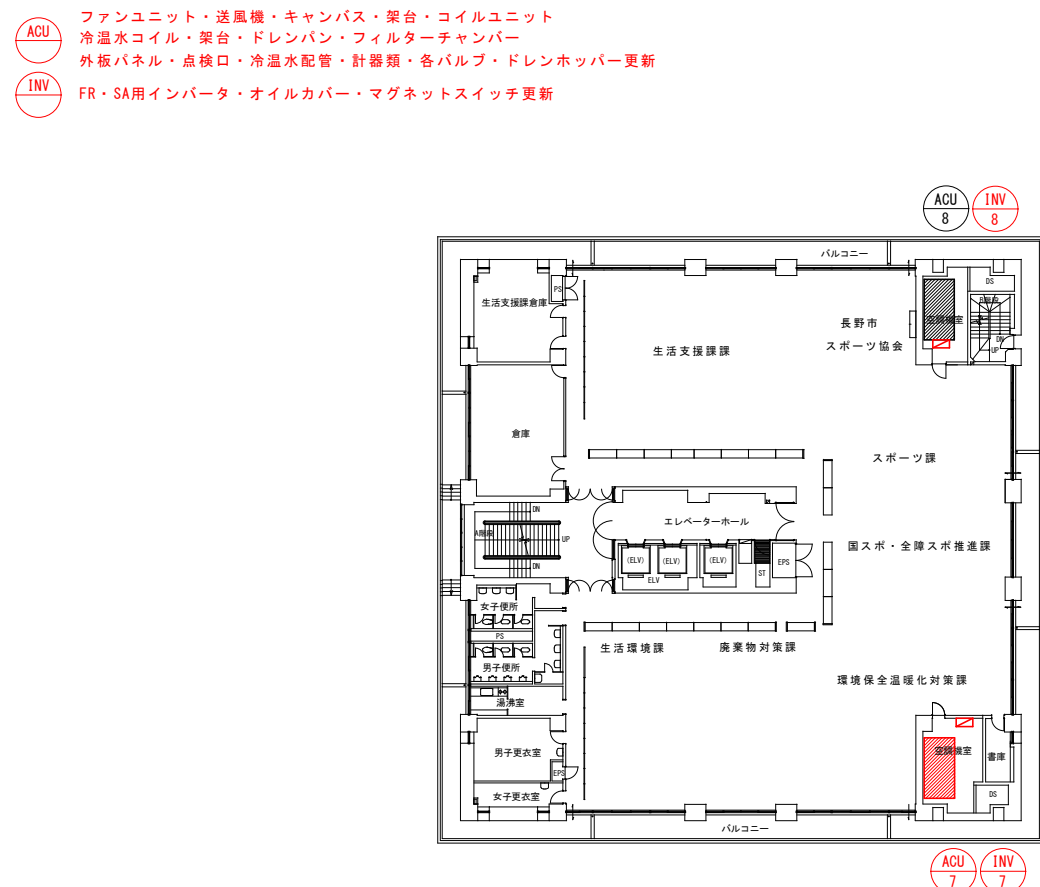
発注図 R8.00.00

図面番号 M-01

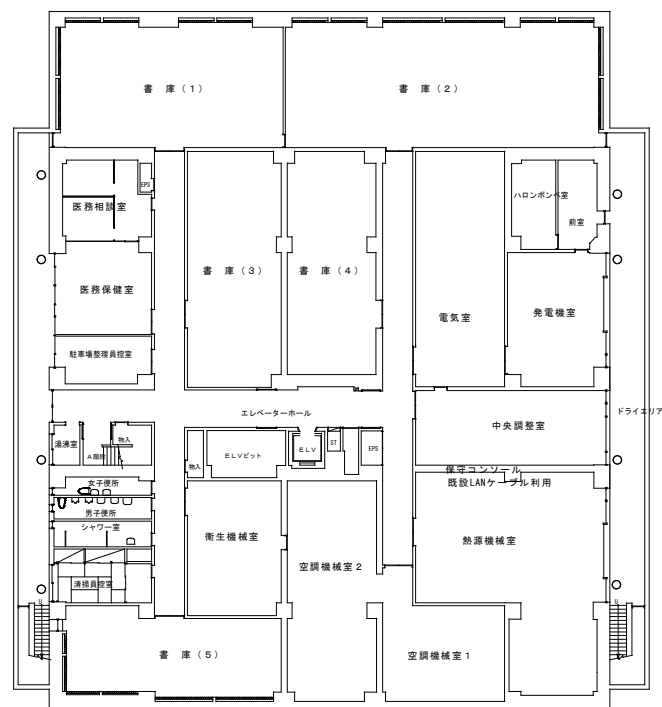




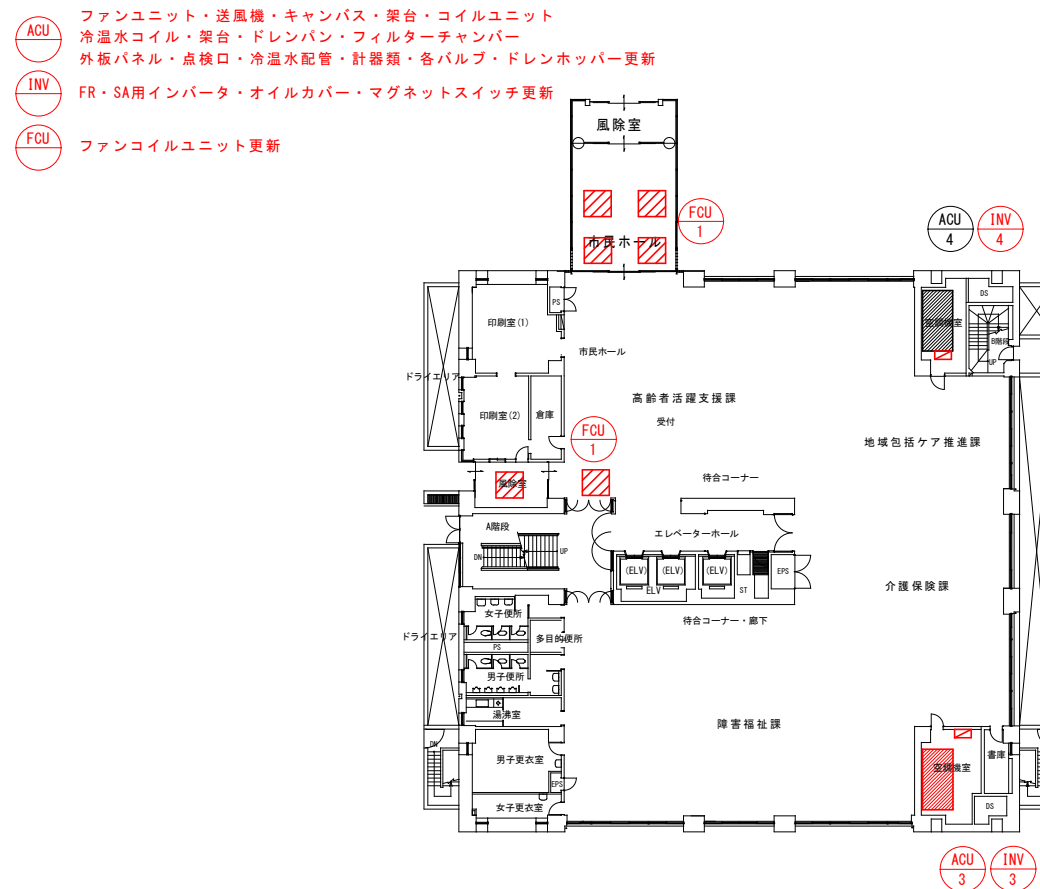
第二庁舎2階



第二庁舎3階



第二庁舎地下1階

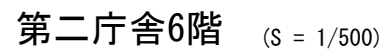


第二庁舎1階

	担 当	係	係 長	課長補佐	主 幹	課 長	設 計 者	O 市債 第二庁舎空調設備改修		工事設計図	図面番号 M-03
								空調機配置図 1	令和 7 年度		
								長野市総務部総務課			

ファンユニット・送風機・キャンパス・架台・コイルユニット  
冷温水コイル・架台・ドレンパン・フィルターチャンバー  
外板パネル・点検口・冷温水配管・計器類・各バルブ・ドレンホッパー更新

FR・SA用インバータ・オイルカバー・マグネットスイッチ更新



ファンユニット・送風機・キャンパス・架台・コイルユニット  
冷温水コイル・架台・ドレンパン・フィルターチャンバー  
外板パネル・点検口・冷温水配管・計器類・各バルブ・ドレンホッパー更新

FR・SA用インバータ・オイルカバー・マグネットスイッチ更新



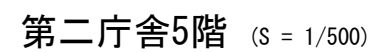
ファンユニット・送風機・キャンパス・架台・コイルユニット  
冷温水コイル・架台・ドレンパン・フィルターチャンバー  
外板パネル・点検口・冷温水配管・計器類・各バルブ・ドレンホッパー更新

FR・SA用インバータ・オイルカバー・マグネットスイッチ更新



ファンユニット・送風機・キャンパス・架台・コイルユニット  
冷温水コイル・架台・ドレンパン・フィルターチャンバー  
外板パネル・点検口・冷温水配管・計器類・各バルブ・ドレンホッパー更新

FR・SA用インバータ・オイルカバー・マグネットスイッチ更新

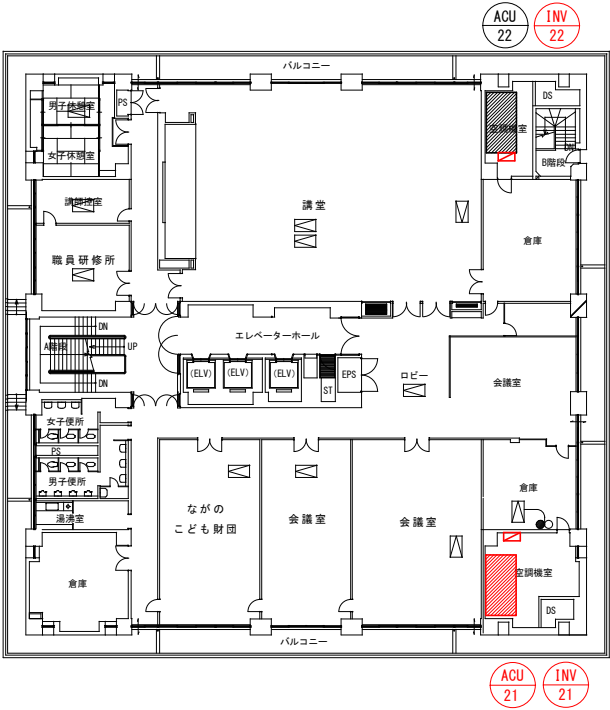


	担 当	係	係 長	課長補佐	主 幹	課 長	設 計 者	0 市債 第二庁舎空調設備改修		工事設計図	図面番号 M-04
								空調機配置図 2	令和 7 年度		
								長野市総務部総務課			

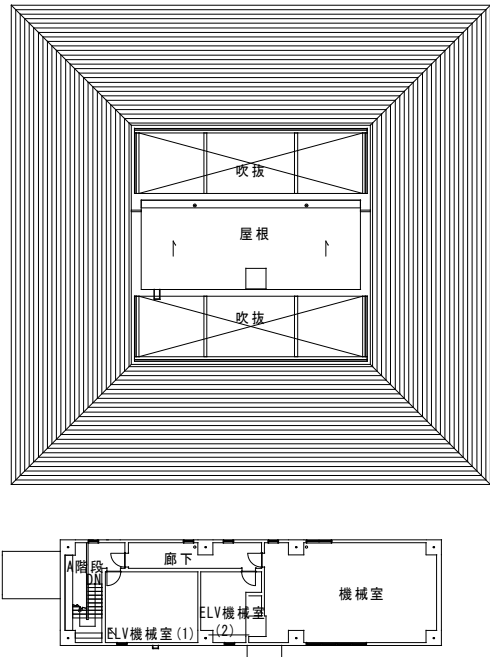
- ACU

ファンユニット・送風機・キャンパス・架台・コイルユニット  
冷温水コイル・架台・ドレンパン・フィルターチャンパー  
外板パネル・点検口・冷温水配管・計器類・各バルブ・ドレンホッパー更新
- INV

FR・SA用インバータ・オイルカバー・マグネットスイッチ更新



第二庁舎10階 (S = 1/500)

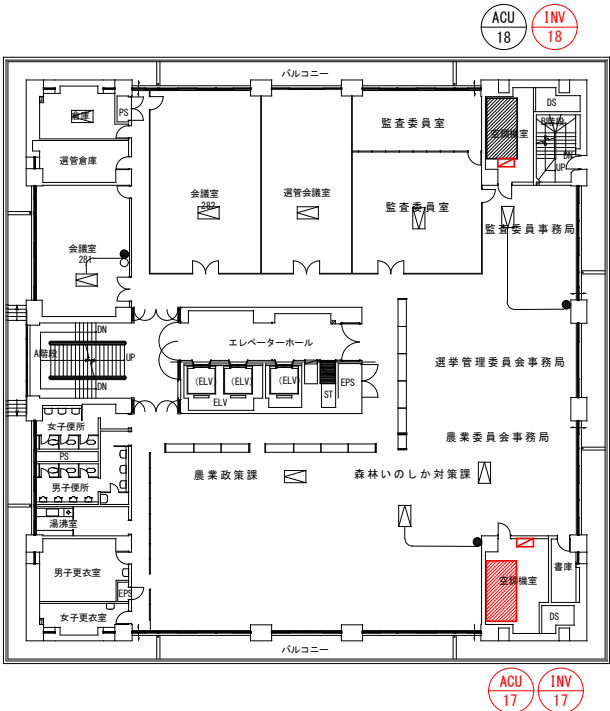


第二庁舎P2階 (S = 1/500)

- ACU

ファンユニット・送風機・キャンパス・架台・コイルユニット  
冷温水コイル・架台・ドレンパン・フィルターチャンパー  
外板パネル・点検口・冷温水配管・計器類・各バルブ・ドレンホッパー更新
- INV

FR・SA用インバータ・オイルカバー・マグネットスイッチ更新

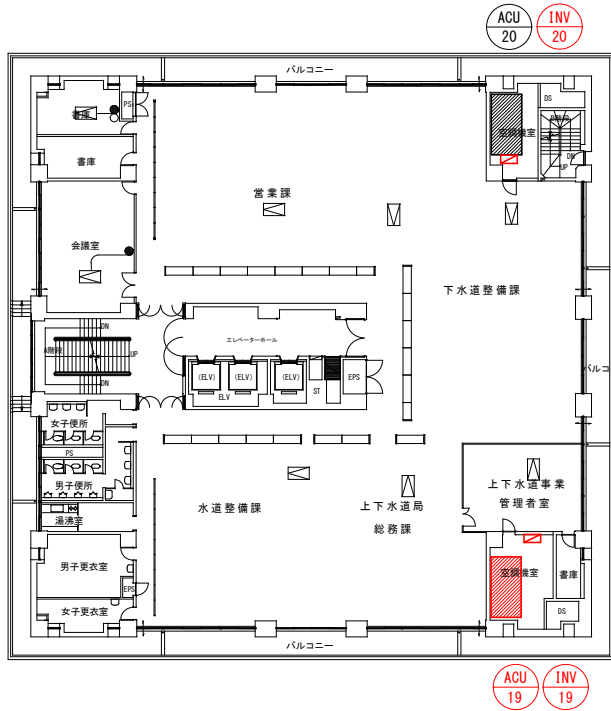


第二庁舎8階 (S = 1/500)

- ACU

ファンユニット・送風機・キャンパス・架台・コイルユニット  
冷温水コイル・架台・ドレンパン・フィルターチャンパー  
外板パネル・点検口・冷温水配管・計器類・各バルブ・ドレンホッパー更新
- INV

FR・SA用インバータ・オイルカバー・マグネットスイッチ更新

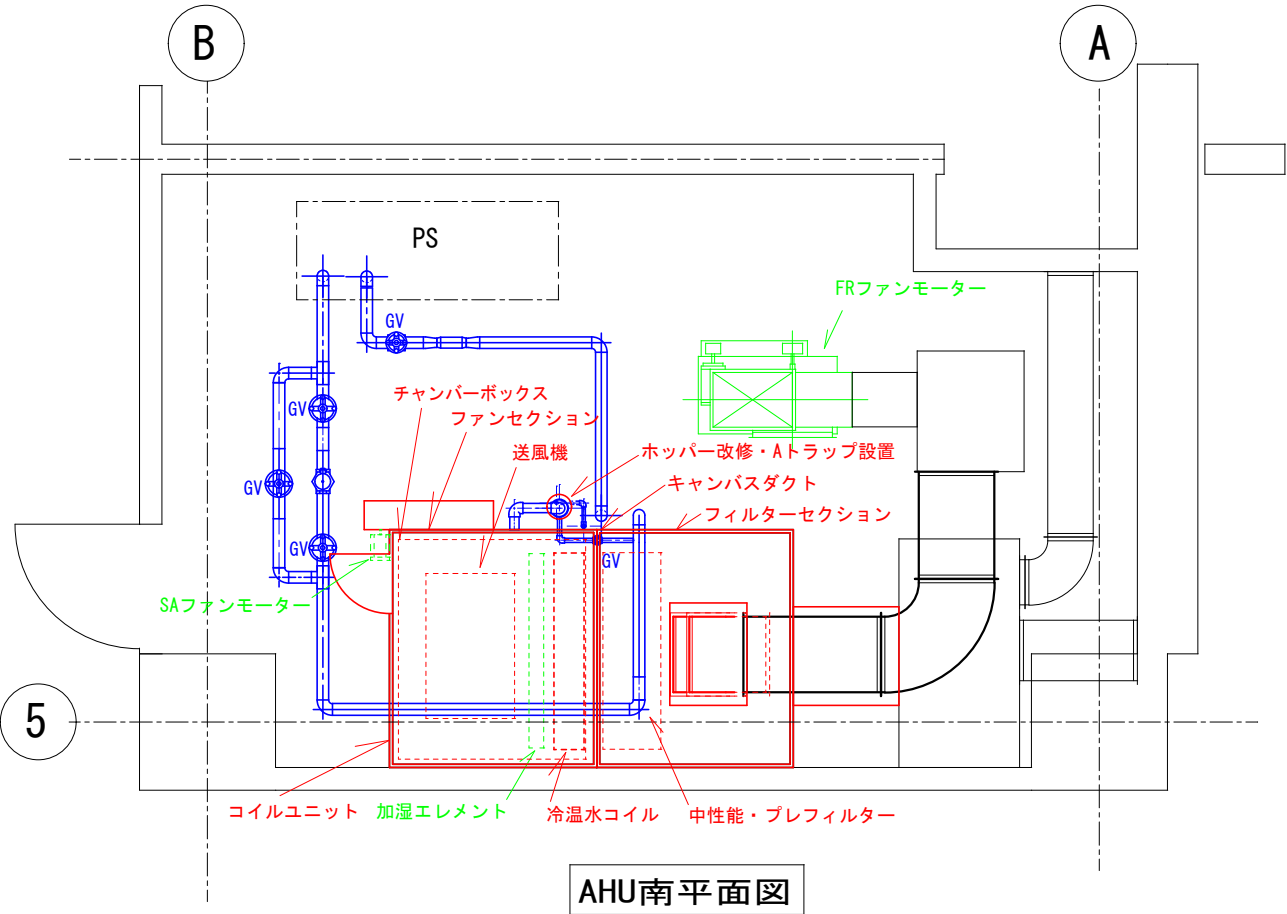
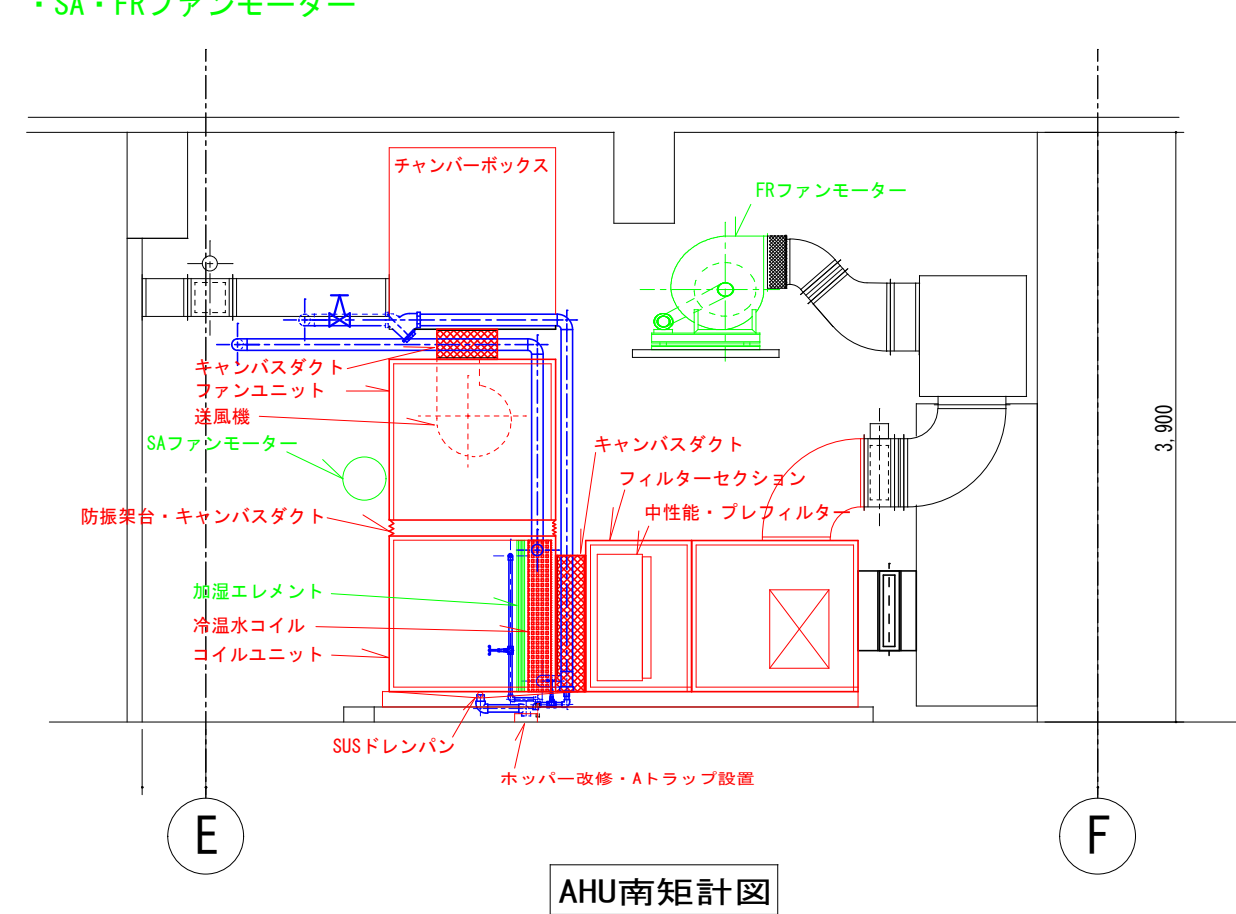


第二庁舎9階 (S = 1/500)

	担 当	係	係 長	課長補佐	主 幹	課 長	設 計 者	〇市債 第二庁舎空調設備改修		工事設計図	図面番号 M-05
								空調機配置図 3	令和 7 年度		
								● 長 野 市 総 務 部 総 務 課			

- ※施工範囲
- ・ファンユニット交換（キャンパス・防振架台共）
  - ・送風機交換（スクロールダンパ・ベルマウス共）
  - ・コイルユニット交換
  - ・冷温水コイル交換
  - ・ドレンパンSUS・架台交換
  - ・外板交換・点検口交換・フィルターユニット躯体腐食部研磨塗装
  - ・中性能フィルター（80%）・プレフィルター枠交換
  - ・マイノスターゲージ交換
  - ・冷温水管交換（付属部材共）
  - ・ダクト・電気配線各所
  - ・SAチャンバーボックス交換

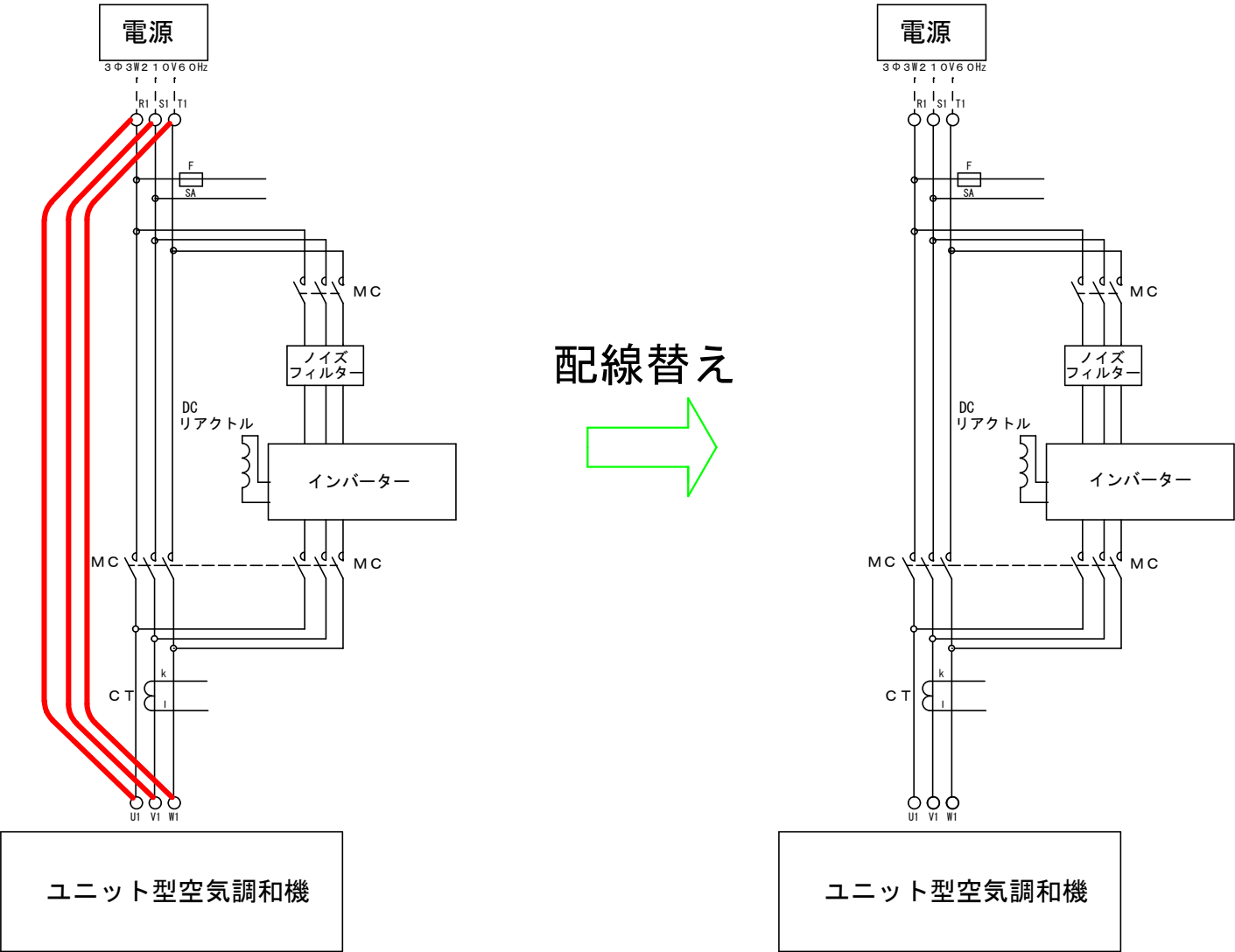
- ※既設再利用
- ・加湿エレメント（清掃点検）
  - ・SA・FRファンモーター



	担 当	係	係 長	課長補佐	主 幹	課 長	設 計 者	0 市債 第二庁舎空調設備改修		工事設計図	図面番号 M-06
								空気調和機詳細図	令和 7 年度		
								● 長野市総務部総務課			



インバーター等更新工事内容(参考図)



インバーターについて一時的に上記のようなインバーターを還さない配線に変えているため、インバーター、マグネット及びノイズフィルター等更新及びCTの復旧、インバーターカバーの設置後、インバーターを運転できる状況に戻す。

	担 当	係	係 長	課長補佐	主 幹	課 長	設 計 者	〇市債 第二庁舎空調設備改修		工事設計図	図面番号 M-07
								インバーター詳細図		令和7年度	
								長野市総務部総務課			

# 空気調和機仕様書

工 事 対 象	系統名	型式	送風機			電動機 KW	冷温水コイル								気化式 噴霧量 Kg/h	フィルタ	外形寸法	特記事項
			全静圧 mmaq	機外静圧 mmaq	風量CMH		種類	列	T	材質	冷却能力 k w	水量 l / h	暖房能力 kw	水量 l / h				
	ACU-2	AD-80	83	40	3,910	3.7	W	4	56	CU・AI	23.3	56	31.3	75	14	80%プレ付	W2030・D2470・H2212	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
○	ACU-3	AD-240	91	45	12,310	11	W	4	56	CU・AI	75.9	182	79.6	190	38	80%プレ付	W2030・D2470・H2213	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
	ACU-4	AD-200	91	45	9,920	7.5	W	6	55	CU・AI	68.6	164	82.3	197	44	79%プレ付	W1802・D2670・H2218	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
○	ACU-5	AD-200	91	45	10,960	7.5	W	4	56	CU・AI	70.8	170	57.2	137	38	80%プレ付	W1802・D2470・H2168	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
	ACU-6	AD-200	95	45	9,580	7.5	W	6	56	CU・AI	61.9	148	48.7	117	34	81%プレ付	W1802・D2470・H2169	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
○	ACU-7	AD-200	90	45	10,350	7.5	W	4	56	CU・AI	69.3	166	57.4	137	39	80%プレ付	W1802・D2470・H2168	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
	ACU-8	AD-200	90	45	10,450	7.5	W	4	56	CU・AI	66.1	158	50.8	121	33	81%プレ付	W1802・D2470・H2169	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
○	ACU-9	AD-200	88	45	9,890	7.5	W	4	56	CU・AI	60.8	145	54.8	131	32	80%プレ付	W1802・D2470・H2168	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
	ACU-10	AD-200	100	45	9,540	7.5	W	8	56	CU・AI	64.4	154	51.2	122	33	80%プレ付	W1574・D2670・H2218	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
○	ACU-11	AD-200	90	45	10,350	7.5	W	4	56	CU・AI	69.3	166	57.4	137	39	80%プレ付	W1802・D2470・H2168	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
	ACU-12	AD-200	90	45	10,450	7.5	W	4	56	CU・AI	66.2	158	50.8	121	33	80%プレ付	W1802・D2470・H2168	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
○	ACU-13	AD-200	90	45	10,350	7.5	W	4	56	CU・AI	69.3	166	57.4	137	39	80%プレ付	W1802・D2470・H2168	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
	ACU-14	AD-200	90	45	10,450	7.5	W	4	56	CU・AI	66.2	158	50.8	121	33	80%プレ付	W1802・D2470・H2168	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
○	ACU-15	AD-200	90	45	10,210	7.5	W	4	56	CU・AI	68.6	164	56.7	136	38	80%プレ付	W1802・D2470・H2168	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
	ACU-16	AD-200	90	45	10,450	7.5	W	4	56	CU・AI	66.2	158	50.8	121	33	80%プレ付	W1802・D2470・H2168	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
○	ACU-17	AD-200	90	45	10,350	7.5	W	4	56	CU・AI	69.3	166	57.4	137	39	80%プレ付	W1802・D2470・H2168	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
	ACU-18	AD-200	924	45	9,660	7.5	W	4	56	CU・AI	56.9	136	44.2	106	26	80%プレ付	W1802・D2470・H2168	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
○	ACU-19	AD-200	90	45	10,350	7.5	W	4	56	CU・AI	69.3	166	57.4	137	39	80%プレ付	W1802・D2470・H2168	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
	ACU-20	AD-200	90	45	10,450	7.5	W	4	56	CU・AI	66.2	158	50.8	121	33	80%プレ付	W1802・D2470・H2168	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
○	ACU-21	AD-240	93	45	13,250	11	W	4	56	CU・AI	87.1	208	81.3	194	45	80%プレ付	W2030・D2470・H2218	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
	ACU-22	AD-240	96	45	14,850	11	W	4	56	CU・AI	89.9	215	77.6	185	42	80%プレ付	W2030・D2470・H2218	スクロールダンパ スプリング防振マイノスターゲージ（0～50Kpa）
○	FCU-1	PH-32	－	5	38	－	－	－	－	－	11.9	28.5	－	－	－	－	W1096・D913・H460	1階＝6台　2階＝2台コントロールスイッチ・電動弁

	担 当	係	係 長	課長補佐	主幹	課 長	設 計 者	O 市債 第二庁舎空調設備改修		工事設計図
								空気調和機仕様書	令和 7 年度	
								● 長 野 市 総 務 部 総 務 課		